

「家畜衛生フォーラム 2018」の開催について

主催：日本家畜衛生学会
共催：(一財) 生物科学安全研究所
後援：農林水産省 (予定)

テーマ：「越境性動物疾病の侵入および蔓延をいかに食い止めるか？」

日時及び場所

日時：平成 30 年 12 月 14 日 (金) 13:00～17:15

場所：Meiji Seika ファルマ (株) 本社講堂

東京都中央区京橋 2-4-16

(東京メトロ銀座線「京橋駅」下車徒歩 1 分、
JR「東京駅」下車徒歩 10 分)



フォーラムのねらい

社会・経済活動のグローバル化に伴い、国際間での人の移動、家畜および畜産物の貿易も活発に行われるようになり、かつては地域的に発生していた動物感染症が世界に蔓延し大きな被害を与えるようになってきている。FAO および OIE が、「国境を越えてまん延し、発生国の経済、貿易及び食料の安全保障に関わる重要性を持ち、その防疫には多国間の協力が必要となる疾病」と定義している越境性動物疾病の国内外での現状と対策等についてお話しいただく。

座長

迫田義博 先生 (北海道大学)、杉浦勝明 先生 (東京大学)

演題および講師

理事長挨拶および今回の企画について説明 (13:00-13:15)

① 世界における越境性動物疾病の状況と対策 (30 分)

釘田博文先生 (OIE アジア太平洋地域事務所)

13:15-13:45

② 「高病原性鳥インフルエンザ」 (40 分)

迫田義博先生 (北海道大学)

13:45-14:25

② 「アフリカ豚コレラの病態および東欧・ロシアにおける発生状況」 (40 分)

山田 学 先生 (動衛研・小平)

14:25-15:05

休憩

15:05-15:20

③ 「世界における口蹄疫の発生状況と研究の進展状況について」 (40分)

森岡一樹 先生 (動衛研・小平)

15:20-16:00

④ 「越境性動物疾病の侵入リスクに応じた水際検疫」 (40分)

伊藤和夫 先生 (農林水産省動物検疫所)

16:00-16:40

会場設営 (10分)

16:40-16:50

⑥ 総合討論 (25分)

16:50-17:15

① 第89回大会の開催について

「家畜衛生フォーラム2018」を開催する12月14日(金)の午前中に、フォーラムと同じ会場で第89回大会の開催を予定しています。詳細については改めてお知らせします。